

第 1 2 2 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成 3 1 年 1 月 1 7 日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 1 2 2 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 平成 3 1 年 1 月 1 7 日 (木) 1 6 時 3 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 5 F 海 技 試 験 室

出席者 :

公 益 委 員	宮里委員、豊川委員、大城委員、赤嶺委員
労 働 者 委 員	柴田委員、屋比久委員
使 用 者 委 員	山内委員

沖 縄 総 合 事 務 局	大城課長、平良調整官 新城補佐、仲里係長
---------------	-------------------------

議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 1 2 1 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 に つ い て
3. 意 見 交 換

○ 閉 会

(配 付 資 料)

1. 第 1 2 1 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)
2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (平 成 3 0 年 1 2 月 分)
3. 平 成 3 0 年 度 若 年 内 航 船 員 確 保 推 進 事 業 体 験 学 習 簡 易 報 告 書
4. 平 成 3 0 年 度 若 年 内 航 船 員 確 保 推 進 事 業 就 業 体 験 (水 産 系 高 校 生 対 象) 簡 易 報 告 書
5. 平 成 3 0 年 度 若 年 内 航 船 員 確 保 推 進 事 業 就 業 体 験 (普 通 科 等 高 校 生 対 象) 簡 易 報 告 書

宮里部会長

定刻でございますので、第１２２回船員部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（仲里係長）

本日の出席状況ですが、公益委員４名、労働者委員２名、使用者委員１名が出席されており、船員部会運営規則第９条の規定により定足を満たし、有効に成立していることを御報告いたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

宮里部会長

それでは、初めに第１２１回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。

お手元に配付されています議事録を御確認ください。

原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

各委員

（「はい」）

宮里部会長

では異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議事２の「管内の雇用状況」につきまして、事務局に説明をお願いします。質問は、最後に受け付けたいと思います。

事務局（新城補佐）

平成３０年１２月分の管内雇用状況等の概要について御報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は１１件でした。前月に比べ５件増加、また、前年同月に比べ６件増加となっております。

月間有効求人数は２０件でした。前月に比べ３件増加、また前年同月に比べ８件増加となっております。

月間有効求人数２０件の内訳は、商船等１８件、漁船２件となっております。

月末未済求人数は１１件でした。

●求職状況について

新規求職数は４名でした。前月に比べ２名減少、また、前年同月に比べ１名減少となっております。

新規求職数４名の内訳は、商船等４名となっております。

月間有効求職数は１５名でした。前月に比べ６名減少、また、前年同月に比べ５名増加となっております。

月間有効求職数１５名の内訳は、商船等１５名となっております。

月末未済求職数は１０名でした。

●成立状況について

１２月は０件でした。

●求人倍率について

１２月の月間有効求人倍率は、１．３３倍でした。前月に比べ０．５２ポイント増加、また、前年同月に比べ０．１３ポイント増加となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

１２月の新規求職者４名のうち離職者３名の退職理由は自己都合３名、離職以外の方１名の求職理由は、就業中に転職を希望するもの１名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管外が２名となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は4名、支給延べ件数は5件で、基本手当支給金額は700,560円でした。

その他再就職手当の支給があり、

再就職手当の支給額は、908,969円でした。

総支給額は1,609,529円となります。

以上、管内雇用状況等の概要説明を終わります。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。では、ただいまの説明について何か御質問ございますでしょうか。

山内委員

新規の求人数が11件もあるのに成立数は0件ですか。

事務局（仲里係長）

求人はあるのですが、成立に至っていない状況です。

山内委員

12月という時期的なものもあるのですか。特に何らかの理由がありますか。

事務局（仲里係長）

成立状況の報告には、求人票・求職票を提出していただいた方で沖縄総合事務局からの紹介にて成立した件数を実績としてカウントしております。

求職者の中には、求職票の提出後、職業紹介端末の情報を閲覧し、個別に求人者側とやり取りをして成立している状況もありますので、今回の報告にあがらないような見えない数値というものも存在します。

また、求人情報に関して言いますと、求人票の提出期限が提出日の翌月末が紹介期限となります。それまでに成立しなかった場合は、再度新規の求人として同様の条件で求人票を提出する事業者もおりますし、紹介期限前までにご連絡いただければ一月延長もできますので、

提出の時期にもよりますが長ければ３ヶ月程度の紹介期限となります。
成立数が０件の件についてですが、１２月という時期的な理由は特
段ないと思われます。

山内委員

これだけ求人があるのであればマッチングできそうな気がするの
ですが。

事務局（仲里係長）

補足ですが、資料２に記載のとおり、求職票を提出されている方の
年齢層が高く、求人者側が求める年齢条件と合わず成立に至っていな
いも一つの要因ではないかと推測できます。

山内委員

はい。わかりました。

宮里部会長

他に何かございますでしょうか。
特にないようですので、議事３の「意見交換」に移りたいと思います。
特に意見もないようですので、事務局から連絡がありますのでよろ
しく願いいたします。

事務局（仲里係長）

資料３、資料４、資料５について御説明させていただきます。
内航船員が高齢化する中、若年者の内航船員を確保することを目的
に平成２３年度から「若年内航船員確保推進事業」を実施しておりま
す。
今年度実施しました事業につきまして、簡単に御報告させていただきます。
資料３の平成３０年度若年内航船員確保推進事業（体験学習）を御
覧ください。沖縄総合事務局では、今年度も若年内航船員の人材確保・
育成の取組みとして、中学生を対象にした「体験学習」、資料４及び
資料５の高校生を対象にした「就業体験」を実施しました。
「体験学習」には中学生・保護者等をあわせて２５名、「就業体験」

には水産系高校生４２名、普通科等高校生１０名、計５２名が参加しました。概要は、配付した資料のとおりとなります。

また、資料の配付はありませんが、若年内航船員確保推進事業とは別に海洋教育事業ということで小学生を対象として「海事教室」を豊見城市の長嶺小学校、宮古島市の城辺小学校の児童を対象に実施しました。琉球海運株式会社や水産高校の先生の協力の下、出前講座やRORO船の見学会を実施しました。

この事業は船員の確保だけに特化したものではなく、物流、造船、船用工業など選択の幅を広げた形での事業になります。

沖縄総合事務局としましては、来年度も引き続き、若年内航船員の人材確保・育成に関する取組みを積極的に推進していきます。

以上です。

宮里部会長

ご説明ありがとうございます。「体験学習」は学校からの応募若しくは公募によって実施するのですか。

事務局（仲里係長）

公募にて実施しております。この事業は船員養成課程のある沖縄水産高等学校に入学してもらうことを目的としております。

沖縄本島とその周辺離島の中学校に対し募集をかけ３０名以上の応募がありました。

当日出席したのは資料に記載のとおり申込者３３名に対し２５名となります。当日台風の影響があり、出席できなかった生徒に対しては「体験学習」で配付した資料を保護者に送付し対応しました。

宮里部会長

わかりました。何かご質問はありますか。

柴田委員

質問よろしいですか。

宮里部会長

はい。

柴田委員

この事業をやられていることは非常にいいことだと思います。

ただ予算の取り方ですが、国土交通省の船員確保に関する予算が年々少なくなっていると感じます。

沖縄総合事務局でも予算確保に努めていただき継続して船員確保に関する事業を実施していただきたいと思います。

また、沖縄県内は石垣島を含め離島が多数あります。離島の住民は船が交通手段として存在し、それを動かすために船員があたりまえのようにいると思われている。

しかし、離島を抱える自治体は募集に関して十分公平性は保たれていると思いますが、地元出身者でなければ応募できないなど船員の確保が難しい環境もあります。

離島の小学生や小さい子供達がフェリーの船員を目指していただきたいので、離島の子達を含めた形で各事業を引き続き実施していただきたいと思います。

事務局（大城課長）

毎年予算が削減されているのは事実でございます。国土交通省と財務省の担当者が予算交渉し、地方に振り分けられている状況です。今回の柴田委員からのお話は国土交通省にお伝えしたいと思います。

柴田委員

これまで予算が削減され、さらにもっと削減しなければならないというお話しが今年出てきておりました。話はなくなりましたが、昨年海技教育機構関連の学生に対して食糧金を負担させるという話もありました。必要な予算は一国民として、海運関係者としてもそうですけど削減せずに予算を組んでいただければと思います。

宮里部会長

他に何かご意見等、報告等ございますでしょうか。

豊川委員

一つよろしいですか。

宮里部会長

はい。

豊川委員

余り大きなことではないのですが、ご説明のあった事業をやられていることはすごいと思うのですが、そこで実施したアンケートの内容について一つよろしいですか。

例えと言いますと資料5の11ページでガイダンスを聞く前のイメージと聞いた後のイメージを設問として実施していますが、このアンケートの質問の意図が余りよくわからない。

現実を知ってもらいながらインターンシップをするということもすごく大事だと思うのですが、これは何の意味があってこれやっているのですかというのが余り見えない内容だなと思います。

印象として、やりがいがある仕事というのだけがポジティブで、それ以外の設問の部分は子供たちからしたら惹かれる内容ではないようなアンケートをガイダンスの前後で2回も印象づけるような。

大して差異も出ないものを何でわざわざ2回もこういう聞き方をするというか、刷り込みをしているようなイメージになってしまうので、アンケートのやり方考えていいのではないかと思います。

もう少し意味があるというか、意味はもちろんあるのですが、この内容に差は出ないですし、資料の4だと23ページと24ページできつそうな仕事は多少は減って、なかなか家に帰れないというのが1名ふえたとかですね。これも現状を理解してもらいながら船員や船に関する仕事に興味を持ってもらいたいというのはわかるのですが、ガイダンスの前後で何が違うかということを、こちら側がわざわざ刷り込みをしているような印象があるので、余り深い意味がないのではないかと。

この質問の仕方を逆に考えて、もう少し学生さんとか生徒さんに船員になる意義であるとかそのようなものを考えてもらえるような内容にしたほうがいいのではないかと思います。

折角アンケートを実施するのであれば刷り込みではなくて、本当の意見を記述式で書いていただくとか、選択肢に意味が余りないので、ここをもう少し戦略的に考えたほうがいいのではないかと。

宮里部会長

本当ですね。

豊川委員

折角のアンケートなのにネガティブ刷り込みみたいになっているような気がします。

宮里部会長

アンケートの設問の中で家に帰れないことを聞くのもどうかと。

豊川委員

それを2回も聞くのはどうかと。現実を理解してもらえたかを確認するのであればいいかと思いますが。

事務局（仲里係長）

ガイダンスについてご説明させていただきます。就業体験を体験する前に勉強会として事前学習会として実施しているものです。請負事業者、当局職員、水産高校の教諭にて実施しています。豊川委員からご指摘のあったアンケートについては当局だけで作成しているものではありませんので、次年度の事業を実施する際の参考意見とさせていただきます。

豊川委員

ガイダンスの前後でアンケートの内容が余り変わらないので、それよりは何がわかったか、何をもっと理解したか、もう少し設問の項目を増やしてもいいので、ガイダンスを受けた後にどういう学習効果があったかということのほうが大事だと思います。

別にガイダンスの前後ではなく、ガイダンスを受けたあとにどういったことが彼ら彼女らの中に響いたかということを確認するようなアンケートにしたほうがよろしいのではないかと。

このアンケートだとネガティブ刷り込みになる可能性もありますし、もう少しアンケートをうまく活用した方がよろしいかと思います。

大城委員

どうせならポジティブ刷り込みのほうがいいですね。

豊川委員

現実を知っていただいた上で、やりがいでだけでなくもっと意義みたいなものを伝えられたらと。

大城委員

格好良さとか。

豊川委員

船員は格好良いとか。格好良さをもっと設問に入れたアンケートにしたらよいかと。

事務局（大城課長）

アンケートは全国の運輸局で実施しておりますので、様式は恐らく一緒でございます。国土交通省から送付のあった様式で実施しておりますので、そのような御意見があったということをお伝えしたいと思います。ご指摘ありがとうございます。

宮里部会長

このようなアンケートだったら就きたくない職業になるかと。

豊川委員

そうでしょうね。印象としてはもったいないなと。

宮里専門部会長

ほかに何かございますでしょうか。

ないようであれば事務局から連絡がありますのでお願いします。

事務局（仲里係長）

今回新たに委員となられた方、特に公益委員の方を対象に久米商船株式会社にお問い合わせをして船舶の見学会を実施しようかと考えておりますのでご報告させていただきます。

日程については、久米商船株式会社の桃原社長と調整がつき次第改めて提示したいと思います。

それから2月の船員部会は、2月21日（木）に5階聴聞室兼会議室で14時00分より開催いたします。

開催通知につきましては準備が整い次第お送りしますので、出席できない場合は事前に事務局まで御連絡をお願いします。

今回の議事録は作成次第メールで照会させていただきますので、御確認よろしくをお願いします。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。

それでは、本日の部会はこれで終了したいと思います。

皆さん、御苦労様でした。